

静勝寺報

第39号

令和4年

6月20日発行

発行所静勝寺

編集発行人

高崎忠道

お施餓鬼、お盆の季節が近づいてまいりました。皆様つつがなくお過ごしのことと存じます。

ワクチン接種も進み感染者数も減少傾向にあるとはいえ、いまだ終息が見えません。そんな中、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、多くの尊い命が奪われ、避難民が多数生まれる中、まったく終息の気配が見られません。今後もどれだけ多くの人命が奪われ、自然や建物が破壊されるかと思うと胸が痛みます。一方国内でも知床観光船沈没事故が起こり、多くの方が犠牲となり、いまだご遺体も見つからない状況です。

人間には欲があります。これはどの生物も同じで、欲があるからこそ生きることができ、子孫を残そうと頑張っています。さらに人間は欲があるからこそ努力し成長し、発展してきました。

でも人間の欲望は限りがありません。あれが欲しいこれも欲しい、こうしたいああしたい、こうして欲しいああして欲しい、ああ成りたいこう成りたい、夫や妻はこうであってほしい、子供はこうなってほしい、親にはこうでいて欲しい、健康でいたい、若いままでいたい、死にたくない。何事も思いどおりにしたい。

しかし、思い通りに行かないのが世の常で、不平不満を述べ、イライラし、怒りとなります。思い通りになればなつたでさらに欲は大きくなり、手に入れば失うことを恐れ不安となる。欲は満足することを知らず、イライラは増し、不安も大きくなる、悩みも尽きないのです。結局、欲を野放しにしてしまうと、欲に振りまされ、自分で自分の首を絞め、苦しみ悩んでいるのが実情なのです。この過ぎた欲、自分勝手な思いを「煩惱（ぼんのう、わずらいなやむ）」というのです。

煩惱は、自らが悩み苦しむだけならまだしも、往々にして周りを傷つけてしまいます。周りを傷つければ

怨みをかいます。ましてや人命を奪えば、怨みは大きくなり、その怨みはさらに怨みを生みます。まさに人類はこのことの繰り返し歴史であり、今またその愚挙が行われているのです。

お釈迦様は、悩み苦しむ人々を救いたいと願い、その原因を探ると、それは自らの欲望、自分勝手な思いであると気づきました。よってその苦しみ悩みをなくすためには欲や、自分勝手な思いを少なくする努力する「少欲知足（しょうよくちそく、少ない欲で足るを知る）」と説かれました。欲を無くすること、現状に満足せよというのではなく、欲の暴走を抑える、欲に振り回されないように自制することが大切になっていきます。

世の中、誰一人としておのれ一人の力で生きている者はいません。「自分で稼いだお金で何でも買って食べて生きているからついつい自ら一人の力で生きているつもり」になってしまいます。でもよくよく考えれば、食料、衣服、使う物、住まい等、誰かが作り、誰かが運び、誰かが売り、さらにその材料、肥料、も多くの人の手を経て手元にあるわけです、食べ物と考えれば肉、魚、野菜もすべて命あるものであり、他の生物の命をいただいています。そして何より、今この世に生を受けたのはここより途切れることなく連続と続いてきたご先祖様、それ以前の生命のおかげなのです。

現在地球上に存在するすべての生物は共通の遺伝子暗号を持つているようで、38億年前に生まれた一つの生命を共通の祖先としている証拠だそうです。そして、進化し枝分かれして3千万種以上の生物となったのです。よって、地球上のすべての生命は、みな兄弟姉妹といえますし、一つとして他の生命と無関係のものではなく、自分以外のすべての生物、生命に支えられ、同時に自らも他の生物、生命を支えながら生きているのです。人間関係だけを見ても、一人の人間は他の人間に支えられ、自らも他の人々を支えているのです。それは、現在だけでなく、過去のご先祖様から未来の

子孫に対しても言えることです。

また一人の人間は、受精卵という一つの細胞から始まり、細胞分裂を繰り返しながら、心臓や肺、骨、脳などの器官を形成し一人の人間となつていきます。それぞれの細胞や器官は、他のすべての細胞や器官に支えられて成り立ち、逆にそれぞれの器官や細胞は自らの役割を果たすことで、他の細胞や器官を支えています。

このように「全ての人間、生き物、器官、それぞれが支えあう存在であり、同じように尊く、平等な存在である」とお釈迦様は、気づかれお説きになりました。世の中に不要な存在、不必要な存在はないのです。

だからこそ、自らの命も含め人の命を殺めてはいけません。むやみに生き物の命を奪うこと、自然を破壊してはならないのです。昨今、SNS等、世の中に「人の悪口」があふれています。悪口は相手を傷つけるだけでなく、相手の立場をおとしめる、存在をないがしろにする行為です。「無視する」「差別」も同じです。これらのこともしてはなりません。また、同様に自らを卑下すること、自暴自棄もいけません。自分自身も大切に生きていかなければなりません。

しかし、生きるためにはどうしても他の生物の命をいただかなければなりません。ではどうしたらよいのでしょうか。食べ物であれば「いただきます」という言葉に感謝の気持ちを込めて食する、無駄のないようにする。物であれば大事に使う、人であれば感謝、敬いの気持ちをもって接することが大切です。そして、支えあうすべての命、モノに感謝し大切にしていこうと、それが「慈悲」の心です。

よって「少欲知足」を心がけていくことは、他者への慈悲であり、自らの幸せに、さらに環境保全、世界平和につながります。この「慈悲」をもって他に施しをし、その功德をもってご先祖様に感謝の念を捧げることが「施餓鬼」であり「お盆」なのです。

*参考文献「常輪寺だより」中野天心老師

今後の予定

○施餓鬼会

七月九日(土) 午後2時より法要(法話はありませんが) 本堂内は人数制限をして入れません。塔婆ならびにご供養のお申し込みは、同封のハガキにて7月4日までお願いいたします。(土日の集配はありませんのでご注意ください)
また、施餓鬼会のお布施、護持会費は同封の郵便振替にてお願いいたします。

○棚経(お盆のお経)

ご希望の方は、なるべく6月中にご連絡下さい。

○道灌まつり(太田道灌公の命日)

七月二十六日(火) 午後4時半 法要 道灌堂
お祭り 5時より階段下参道、夜店(予定)
お祭りは中止になる可能性があります。

○秋季彼岸会法要九月二十三日(金 秋分の日)

午前十一時 うた、法話、法要(予定)

○坐禅会 毎月第一土曜 午後2時半〜4時半

定員18名(予約制)

○写経会 毎月第二土曜 午後2時半〜4時

定員20名(予約制) 7月は16日です。

○うたの会 毎月第四土曜 午後2時半〜

定員20名(予約制)

○日曜坐禅会、朝の会

坐禅会、毎週日曜朝6時

朝の会(読経と話) 6時50分〜7時20分

定員18名(予約制)

○ピアノ教室 ピアノを楽しみましょう。

ご予約、お問い合わせは

03-3900-4455まで

コロナの感染状況によっては休止する場合がありますので、電話、ホームページよりご確認ください。

4月に子猫が5匹生まれました。皆元気にすくすく育ち、やんちゃで大変です。みな新しい家族のもとに行く予定です。



20歳になったきゆう。耳は遠くなりましたが元気に走り回ってます



15歳のトム
今春最愛の妻ミケをなくし落ち込みましたが何とか持ちこたえました。



キジバト夫婦といつも一緒のスズメ



コゲラ



Instagram
@jozanchudo
日頃の境内の様子をアップしています。



静勝寺ホームページ
<http://joshoji1486.sakura.ne.jp/>
坐禅会、写経会、うたの会の予定はこちらでご確認ください

編集後記 朝ドラ「ちむどんどん」にこんなセリフがありました。

「頑張っても、頑張ってもどうにもならないのが人生、でも明日がきっといい日になると言うことが大事。」 「みんな、うまくいかないこと、どうしようもないことがある。それでも、幸せになることをあきらめなくて、生きていかなければならない。そうしたら必ず生きていてよかったと思える時が来る。」と。理不尽な世の中ですが、幸せになることをあきらめなくて生きていきましょう。忠道